

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
2	小山 忠之（26）	<p>1. 「(仮称) 市民会議（ミニパブリックス）」の活用と制度化について</p> <p>ここで言う市民会議とは、無作為抽出で選出した多数の市民による課題解決のための会議体で、ミニパブリックスとも呼ばれる手法である。ただ、この手法については必ずしも一般的に共有され認識されているとは言えないので、ここでは仮称として議論を進めることとする。</p> <p>さて、富士市は第五次富士市総合計画後期基本計画策定及び第六次富士市総合計画の策定において、無作為選出による市民参加制度を導入した市民懇話会を設け、サイレント・マジョリティーと言われる市民の声を吸い上げ集約しようと実践した経緯がある。令和4年度にスタートさせた第六次富士市総合計画の策定過程においては懇話会を総勢120人から成るフジ6未来創造懇話会と称し、成果として相当のボリュームに満ちた貴重な提案を得て、計画にも反映させたものと考ええる。</p> <p>同懇話会は、ここで言う市民会議（ミニパブリックス）の一つとされるドイツ生まれの「プラーヌクスツェレ」と呼ばれる方式を参考に設置、開催したということである。</p> <p>民主政治は代表制を原則として機能しているが、住民の価値観の多様化・複雑化が進む一方、地域社会における諸問題・諸課題が複雑・専門分化している中で、静かな大衆あるいは物言わぬ多数派と言われるサイレント・マジョリティーの声は多数であっても静かなるゆえに埋没しがちとされる。そうした中で代表制を補完しサイレント・マジョリティーの声を直接すくい上げる手法として近年注目されるのが「(仮称) 市民会議（ミニパブリックス）」であり、その大きな特徴は、会議の構成員が地域社会の縮図を形成するものだという点である。富士市も既にその一部を実践してきたことになる。</p> <p>そこで以下、市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 民意を受ける手法は多々あるが、新たな有力な手法として既に実践している「(仮称)市民会議(ミニパブリックス)」を制度化し、全市民的な重要案件について臨機にかつ積極的に導入してはどうか。</p> <p>(2) 全面改築して「令和18年度開院もしくは1年でも前倒しで開院」としている富士市立中央病院の立地及び市民の望む将来の在り方について、地域社会の縮図となる「(仮称)市民会議（ミニパブリックス）」を設置し意見・提言等求めてはいかがか。</p> <p>2. 健康保険証の「個人番号カードへの一体化」について</p> <p>富士市も個人番号カード(以下マイナンバーカードという)の普及に向け、政府の強い意向も受けて積極的に市民に働きかけているところであると理解する。特にカードの普及と消費の活性化をうたうマイナポイントが付与されていること、さらに、健康保険証と公金受取口座のマイナンバーカードへ</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
2	小山 忠之（26）	<p>の一体化に大きなポイントを付与するという、金銭も絡んだ申請誘導策が講じられていることもあり、富士市においてもカード申請者数とマイナポイント付与申請者数はこのところ急激に増加しているようである。</p> <p>所管課のまとめでは、今年10月末現在で申請者数は富士市の人口比で65%を超え、交付数は同51%強となっている。このマイナンバーカードの申請そのものは任意であり、マイナポイントの取得も任意であって、それらは個人の意思によって自由に行われて一向に構わないものである。</p> <p>ところが、政府（デジタル大臣）は10月に、現行の紙製等の健康保険証を2024年秋までに廃止して、もともと任意であるはずのマイナンバーカードに一体化させる趣旨の声明を出した。これは一般には、政府はマイナンバーカードの事実上の義務化にかじを切ったと受け取られたようだが、これに対する反発も根強く広がっているとされ、事実上の義務化に係る行方はまだ流動的な要素が少なくないものと思われる。</p> <p>富士市も令和4年度にスタートした第4次情報化計画において、「便利で安心な市民サービスの提供」として、マイナンバーカードの活用を挙げ、国民健康保険証及び後期高齢者健康保険証のマイナンバーカードへの一体化を進めるとして、令和8年度までの目標値も掲げて取り組んでいる。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 現行の紙製等の健康保険証の「2024年秋までの廃止」との声明をどのように受け止めたか。市長の率直な感想と認識について。</p> <p>(2) 富士市が進める国民健康保険証、後期高齢者健康保険証のマイナンバーカードへの一体化について。</p> <p>① 国民健康保険証及び後期高齢者健康保険証のマイナンバーカードへの一体化対応について、どのような手法で取り組んでいるか。これまでの実績はどうか。</p> <p>② それぞれの課題についてはどう捉えているか。</p> <p>③ 富士市内の医療機関等の健康保険証に対するマイナンバー対応についてはどう把握しているか。</p> <p>(3) これら保険証のマイナンバーカードへの一体化が仮に進んだとしても、マイナンバーカードの申請はあくまで任意であることから現行の紙製等の保険証使用の選択肢は残存すべきと考えるがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長